

神崎忠昭著『ヨーロッパの中世』正誤表

2016年7月1日作成

修正箇所	修正前(誤)	修正後(正)
10 頁(図版の説明文)1 行目	窒素同位体(¹⁸ O)寒冷期になると	酸素同位体(¹⁸ O)は寒冷期になると
10 頁下から 4 行目	この年の繁栄	この都市の繁栄
20 頁下から 7 行目	東西の正帝と副帝各 2 名が	東西の正帝と副帝各 1 名が
35 頁下から 10 行目	母体の出産	母親の出産
40 頁下から 6 行目、下から 7 行目	ベルサリウス	ペリサリウス
42 頁 1 行目	深まるについで	深まるにつれて
52 頁下から 4 行目	自由七科をの基礎	自由七科の基礎
53 頁下から 5~6 行目	この中には『正書法』が含まれているが、この頃すでに正しい綴り方が忘れられていたことを示している。	また『正書法』という著作が残されているが、これはこの頃すでに正しい書き方が忘れられていたことを示している。
67 頁下から 3 行目	決着をつけるためであった。	決着をつけるためだった。
69 頁 16 行目	決定にだった。	決定だった。
81 頁下から 3 行目	ノルマン人をに	ノルマン人に
88 頁 7 行目	第一次ブルガリア帝国(681-1014)	第一次ブルガリア帝国(681-1018)
115 頁下から 3 行目	いたるところで教会堂の白い衣を	いたるところで白い衣を
118 頁下から 7 行目	和解と強調を旨に	和解と協調を旨に
119 頁最終行	ユーグ	ウーゴ
120 頁 2 行目、5 行目	上ブルグンド王	ブルグンド王
120 頁下から 9 行目	息子で若干 18	息子で若冠 18
121 頁 3 行目	特許状は改訂され	特許状は改定され
121 頁下から 5 行目	さらに彼をロートリンゲン	さらに彼にロートリンゲン
131 頁 11 行目	セルギウス 3 世(在位 904-711)	セルギウス 3 世(在位 904-911)
141 頁 3 行目	第 6 章 4 述べた	第 6 章 4 で述べた
144 頁下から 4~5 行目	「大司祭 archdeacon」あるいは「大助祭 archpriest」	「大司祭 archpriest」あるいは「大助祭 archdeacon」
151 頁下から 12 行目	パリウムは司教職	パリウムは大司教職
151 頁下から 11 行目	授けられなければ司教	授けられなければ大司教
153 頁(図版の説明文)1 行目	ラテラノ宮殿にあった旧フレスコ画	旧ラテラノ宮殿にあったフレスコ画
159 頁 5 行目	コンティ家に生まれたが、	セーニ家に生まれたが、
162 頁 12 行目	息子ハインリヒ 7 世(1211-42)	息子ハインリヒ(1211-42)
163 頁下から 9~10 行目	及ぼそうとした。ハインリヒ 7 世の問題を	及ぼそうとした。息子のハインリヒの問題を
165 頁下から 3 行目	なおも続くの死闘の	なおも続く死闘の
167 頁 6 行目	ピエトロ・デル・モローネ	ピエトロ・ダ・モローネ
168 頁 1 行目	「Clericos laicos」	「Clericis laicos」
182 頁(地図中の河川名)	ガロンヌ川	ジロンド川
185 頁下から 4 行目	特に農村教区の	特に農村小教区の
187 頁下から 9~10 行目	1000 を超える施設	1000 に近い施設
195 頁下から 4 行目	ドイツ東方植民	ドイツ東方植民
216 頁 10 行目	強張されない。	強調されない。
219 頁地図	サン・タフリック教区	サン・タフリック小教区
236 頁最終行	排除されたのである。	排除されたのである。

修正箇所	修正前(誤)	修正後(正)
255 頁 10 行目	共通利害を守ることを	共通利益を守ることを
255 頁下から 9 行目	(神学・教会法・医学)	(神学・法学・医学)
271 頁 14 行目	勝負にならな <u>った</u> は	勝負にならな <u>かつ</u> たは
286 頁下から 2 行目	かつてはともにブルゴーニュ王国の一部	かつてはともにブルグンド王国の一部
294 頁 12 行目	アンジュー公家	アンジュー家
308 頁 1 行目	やはりイスパニア辺境伯領	やはりイスパニア辺境領
314 頁下から 4 行目	ノヴゴロド国に溯る。	ノヴゴロド公国に溯る。
315 頁 5 行目	その後キエフ公国は	その後キエフ大公国は
325 頁 3 行目	6 人の甥を	6 人の親族を
326 頁下から 9 行目	枢機卿は彼 <u>ら</u> の	枢機卿は自 <u>ら</u> の
336 頁 6 行目	教会課税や	聖職者課税や
348 頁下から 2 行目	修道院の名物料理も知られるようになる。モン・サン・ミッシェル修道院は多数の卵を使ったオムレツで有名だが、鶏が数日に	修道院では卵も多く使用されたが、現代と違って鶏が数日に
355 頁下から 2 行目	なお <u>あ</u> とりあげたトピックは	なおとりあげたトピックは
356 頁 11 行目	また以前は洗礼盤水に浸る	また以前は洗礼盤 <u>の</u> 水に浸る
356 頁 13 行目	幼児が受ける負担が反映したともいう。	幼児が受ける負担を軽減したいという気持ちが反映したともいう。
357 頁下から 10 行目	最小単位であり、	基本単位であり、
362 頁下から 6~7 行目	ヨーロッパ人口の $\frac{3}{10}$ から $\frac{3}{10}$ の 2、	ヨーロッパ人口の約 $\frac{3}{10}$ の 1、
367 頁図キャプション	(1462 没)	(1402 没)
378 頁下から 9 行目	結婚を進めた	結婚を奨めた
380 頁 3 行目	マクシミリン 1 世	マクシミリアン 1 世
380 頁 10 行目	「ドイツ国民の <i>germanica natio</i> 」	「ドイツ国民の <i>nationis germanicae</i> 」
383 頁下から 14 行目	スペイン王国およびフランスからの分離独立を	ハプスブルク家支配下での、帝国からの分離と、17 州の一体性を
393 頁下から 3 行目	バルト海圏	北海圏
399 頁下から 3 行目	1599 年馬上槍試合	1559 年馬上槍試合
401 頁 10 行目	太陽系とされた惑星	太陽系と惑星
404 頁 15~16 行目	描かれたイメージとは大きく異なる。	描かれた。
406 頁下から 3 行目	新プラトン主義の延長戦上には	新プラトン主義の延長線上には
414 頁左列 5 行目	ハインリヒ 7 世 162, 163, 283, 285, 296	ハインリヒ 7 世 283, 285, 296
414 頁左列 10 行目に追加		ハインリヒ(ホーエンシュタウフェン家) 162, 163
429 頁左列下から 6 行目	ブルグンド 59, 63, 149, 295	ブルグンド 59, 63, 149, 286, 295
429 頁左列下から 6 行目に追加		ブルグンド王国 120, 127, 149, 286, 295